

| | | | | | |
|-----|----|----|--------------|-------|--------------------|
| 教科名 | 英語 | 科目 | 論理表現Ⅱ（進学クラス） | 週授業時間 | 文系 4 時間 理系 3 時間 |
|-----|----|----|--------------|-------|--------------------|

1. 教科書および副教材・参考書

Vison Quest English Logic and ExpressionⅢ（啓林館）

Vison Quest New English Grammar 24（啓林館）

Vison Quest 総合英語 Ultimate（啓林館）

Bright Stage（桐原書店）

Weblio Study（GRAS GROUP）

Scramble ランダムトレーニング問題集（旺文社）

Hyper listening Intermediate（桐原書店）

Reading Flash Stage2 / Stage 3（桐原書店）

2. 授業の目標および内容

- ① 基礎学力到達度テストで必要な英文法を習得し、演習問題に対応できるようにする。
- ② 基礎学力到達度テストで整序問題に対応できる力を養う。
- ③ 基礎学力到達度テストに対応できるリスニング力を養成する。
- ④ 英検準2級を全員取得し、英検2級の合格もめざす。

3. 試験について

| | 1 学期 | | 2 学期 | | 3 学期 |
|------|--------|--------|---------|---------|------|
| 定期試験 | 一次 5 月 | 二次 7 月 | 一次 10 月 | 二次 12 月 | なし |
| 学力試験 | 6 月 | | 9 月 | | なし |

内容・難易度について

- ① 定期試験：授業で扱った文法問題・速読問題の類題を中心に出題する。
リスニングはテキストで実施した内容の類題を扱う。
試験範囲は理系終了单元までとする。初見の問題も出題する。
- ② 学力試験：読解・文法・語法問題・リスニング問題をバランスよく出題する。

4. 課題・補習について

文法問題は複数の単元がまとまったところで確認の小テストを行う。
夏休みには基礎学力到達度テストの対策を主とする講習を実施する。

5. 評価の視点

定期テストの点数に平常点（提出物・授業内の発表活動・小テスト結果）を含め、総合的に評価点を算出する。

6. 授業計画

| 学期 | 単 元 | 学 習 内 容 | 備 考 |
|----|--|--|--|
| 1 | 無生物主語・名詞構文 話法 動詞・述語に関する問題 修飾に関する問題 文型・構文・機能語など に関する問題 | <ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力到達度テスト傾向と対策 ・無生物主語の構文・名詞構文 ・直接話法と間接話法 <ul style="list-style-type: none"> ・文法事項はすべて既習のため、大学入試問題の演習で定着を図る。 ・大学入試問題でその形式に慣れる。 ・適宜リスニングを行いリスニング力を高める。 | 毎時間、Reading Flash で速読力を高める練習をする 月2回 文法小テスト実施 weblio study を利用し、基礎学力到達度テスト対策問題に家庭学習で取り組む。特に文系は授業中にも確認する。 |
| 2 | 基礎学予想問題プリント ・名詞・冠詞 ・形容詞 ・副詞 入試問題プリント | <ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力到達度テスト直前対策（リスニング・文法・整序問題） <ul style="list-style-type: none"> ・基礎知識の確認で英文法への理解を深める 入試直前演習 | 毎時間、Reading Flash で速読力を高める練習をする weblio study を利用し、基礎学力到達度テスト対策問題に家庭学習で取り組む 共通テストや一般受験問題にも取り組む |